

令和5年度 職員研修のまとめ

チーム星峯西小学校で取り組む
「教育の情報化」

「格差」を解消し、学校全体で推進する
GIGAスクール3年目の実践まとめ
タブレット端末を活用した全教員による
全学級での授業実践を目指して

令和6年3月4日(月)

鹿児島市立星峯西小学校

すべての先生がタブレット端末を活用した授業を行えるようにするためにはどうすればよいか？

学校現場の現状、指導する側の実態

教員の大幅な異動があり、全教員の25%超がタブレット端末の未経験者や初心者 **(75%は経験者)**

先生方の主な疑問・不安

Q1: 指導案のどの部分をデジタルによる学習指導で置き換えて授業を行えばよいのか？

Q2: そもそも従来のアナログ型の授業をどのようにして改善したらよいか？

Q3: タブレット端末を活用した授業をどのような手順で具現化していけばよいか？

アナログとデジタルの学習指導
の融合を目指した
実践記録集(2021・2022)



鹿児島市立星峯西小学校

←その疑問の答えが集約されている

令和5年度(2023) 研究実践のまとめ

「アナログとデジタルの融合を 目指した実践事例集(2023)」

- ・ 指導案、活動場面・板書等付き事例15
- ・ 授業で活かしたい「〇〇」指導事例
- ・ 低学年における実践事例
- ・ 特別支援学級における実践事例
- ・ 補充指導における実践事例
- ・ 家庭学習における実践事例

アナログとデジタルの学習指導の融合 を目指した実践事例集Ⅱ（2023） ～指導案、活用場面、板書等付き～



鹿児島市立星峯西小学校

もくじ

第1章 はじめに

「格差」を解消し、学校全体で推進する教育DXの取組

第2章 教科領域等の授業実践事例

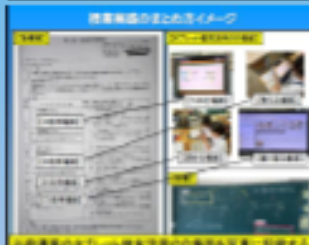
- 1 授業実践事例01～15（指導案、活用場面、板書等付き）
- 2 授業で生かしたタブレット端末の活用「〇〇指導」事例
- 3 低学年期におけるタブレット端末の活用事例
- 4 特別支援学級におけるタブレット端末の活用事例

第3章 補充指導の実践事例

朝学習（ベーシックタイム:毎週火・木曜日:15分間）の事例
土曜授業（パワーアップタイム:第2土曜日:45分間）の事例

第4章 家庭学習の実践事例

家庭学習の課題（家庭学習ノート、タブレット端末の持ち帰り
等）の実践事例



※この資料は、写真、モデル図等を可能な限り多く入れて、授業実践の概要が分かるようにしてあります。
※前半の教科領域等の実践事例は、指導案、活用場面・板書写真、授業者コメント等が見開き2頁にまとめられています。

【指導案の様式について】

※全ての学年・学級でタブレット端末を活用した授業を行うため、タブレット活用に関連する内容等にはOマークを記入しています。

- 1 2本時（1）目標については①学びに向かう力、人間性など情意面②知識・理解・技能、思考・判断・表現を明記している。
- 2 2本時（2）「本時の展開に当たって」には、本時で特に主張したい教師の働きかけを、「（子どもが）～できるようにするために、（教師は）～な手立てを行うようにする。」の文型で具体的に明記している。
- 3 学習過程については、「つかむ→見通す→考える→調べる→深める→まとめる・振り返る」の基本的な学習過程を踏まえている。
- 4 教師の主な働きかけ（O印）には、学習活動に対応させながら指導者が行う様々な手立ての意図や目的を「～するために」の文型で明記している。
- 5 評価規準（※印）には、主な評価規準（何を）、評価方法（どのように）を具体的に記している。

令和5年12月18日付け南日本新聞に記事掲載

広がるICT 変わる授業



「明治初期の日本は、強い国づくりにために、どのような取り組みをしましたか。」11月中旬、桜峰小であった6年社会の授業で、担任の岡麻葉教諭が児童2人に問いかけた。その授業の「めあて」(学習目標)だ。

「学歴置票や種痘票、徴兵令、地租改正。児童が学習で調べた内容を挙げて、それぞれ目的は何だろう」と前置教諭。それが調べ始めると、教室後方に座る5年生へ移動した。

桜峰小は全校児童約1,500人。6年生は2人ずつの複式学級だ。前置教諭が6年生の発表を聞いていた。5年生は

「予習型」で主体的学び

桜峰小

情報通信技術(ICT)が学校を委つた。鹿児島市内の小学校でもタブレット端末やデジタル教材の導入が進む。桜峰小では、これらを活用し児童が自律し学ぶ授業を現。業務効率化で長時間勤務解消にもつながるなど、全国の注目を集める。星峯西小は教員間で温度差を解消しようと、活用のノウハウを冊子にまとめ、配布している。



予習から展開していく桜峰小の授業。タブレット端末と黒板の板書などを組み合わせて行われる。＝鹿児島市桜島松浦町

「端末で、その日に学ぶ単位を関連する動画を見て。」5年生のめあては「中土場はどんな王をして物々、明示する」導入で始まり、場は口を動かして問題をいったりする。発表したり問題を出したりする。展開、授業を振り返り、製造しているものを発表。力まかせる「終末」の順に進む。の加減が難しい部品だから職人が作っている」と答えた。ために宿題を出す。一方、桜

星峯西小(547人)はこのほど、タブレット端末やデジタル教科書を使ったICT活用と、板書など従来の「アナログ」を組み合わせた授業の実践例を冊子にまとめた。写真、低学年から高学年、特別支援学級まで、さまざまな教科や場面でのノウハウを紹介している。学習指導案のほか、実際の授業で端末を使

実践例 冊子に

星峯西小

う様子や板書した黒板の写真なども掲載する。6年生の外国語の授業では、音声の出るデジタル教科書で単語の発音を練習。発表の様子を互いに撮影して助言し合ったり、自分の発表を客観的に振り返ったりした例を紹介した。



同校は2021年度から「教育の情報化」を掲げ、端末を活用した学習指導を研究。今年3月には22年度までの実践記録集を発行した。谷口源太郎校長は「教員によってスキルの差があり、不安もあるだろう。手順書として役に立ててもらえれば」と意図を話す。

23年度版冊子はA4判フルカラー65頁。200部発行し、市内の各小中学校に献本する。

星峯西小(547人)はこのほど、タブレット端末やデジタル教科書を使ったICT活用と、板書など従来の「アナログ」を組み合わせた授業の実践例を冊子にまとめた。写真。低学年から高学年、特別支援学級まで、さまざまな教科や場面でのノウハウを紹介している。学習指導案のほか、実際の授業で端末を使

実践例 冊子に

星峯西小

う様子や板書した黒板の写真なども掲載する。6年生の外国語の授業では、音声の出るデジタル教科書で単語の発音を練習。発表の様子を互いに撮影して助言し合ったり、自分の発表を客観的に振り返ったりした例を紹介した。



同校は2021年度から「教育の情報化」を掲げ、端末を活用した学習指導を研究。今年3月には22年度までの実践記録集を発行した。谷口源太郎校長は「教員によってスキルの差があり、不安もあるだろう。手順書として役に立ててもらえれば」と意図を話す。

23年度版冊子はA4判フルカラー65頁。200部発行し、市内の各小中学校に献本する。

令和3～5年度 本校職員研修の概要

令和3年度
(2021年)

「教育の情報化」に伴うデジタル化への対応
「確かな学力」を育成するための学習指導
コロナ禍における確実な「学びの保障」実現

令和4年度
(2022年)

↓
「学級間」格差の解消＝教育の機会均等
全ての教員がすべての学年・学級で実践
できる新たな研修スタイルの実現

令和5年度
(2023年)

↓
「アナログとデジタルの学習指導の融合を
目指した新たな学習指導の構築」

「確かな学力」を育むこれからの学習指導の構築
～アナログとデジタルによる学習指導の融合を目指して～

すべての教科領域で情報活用能力を基盤にして育成する

（授業以外）
補充指導

関連

授業改善

付け

家庭学習

関連付け

関連付け

デジタル学習指導（学習者用デジタル教科書、タブレット端末、デジタルドリル、AI教材、ロイロノート、テレビ会議システム等）

アナログ学習指導（紙の教科書、ドリル、教科用ノート、家庭学習ノート等）

学力定着のイメージ(※①②③すべてがそろおう)

つくる

とりだす

①input

③output

新皮質

しまう

旧皮質

②keep

授業改善

問題練習

学校での補充指導(量と質)
+
家庭学習(量と質)

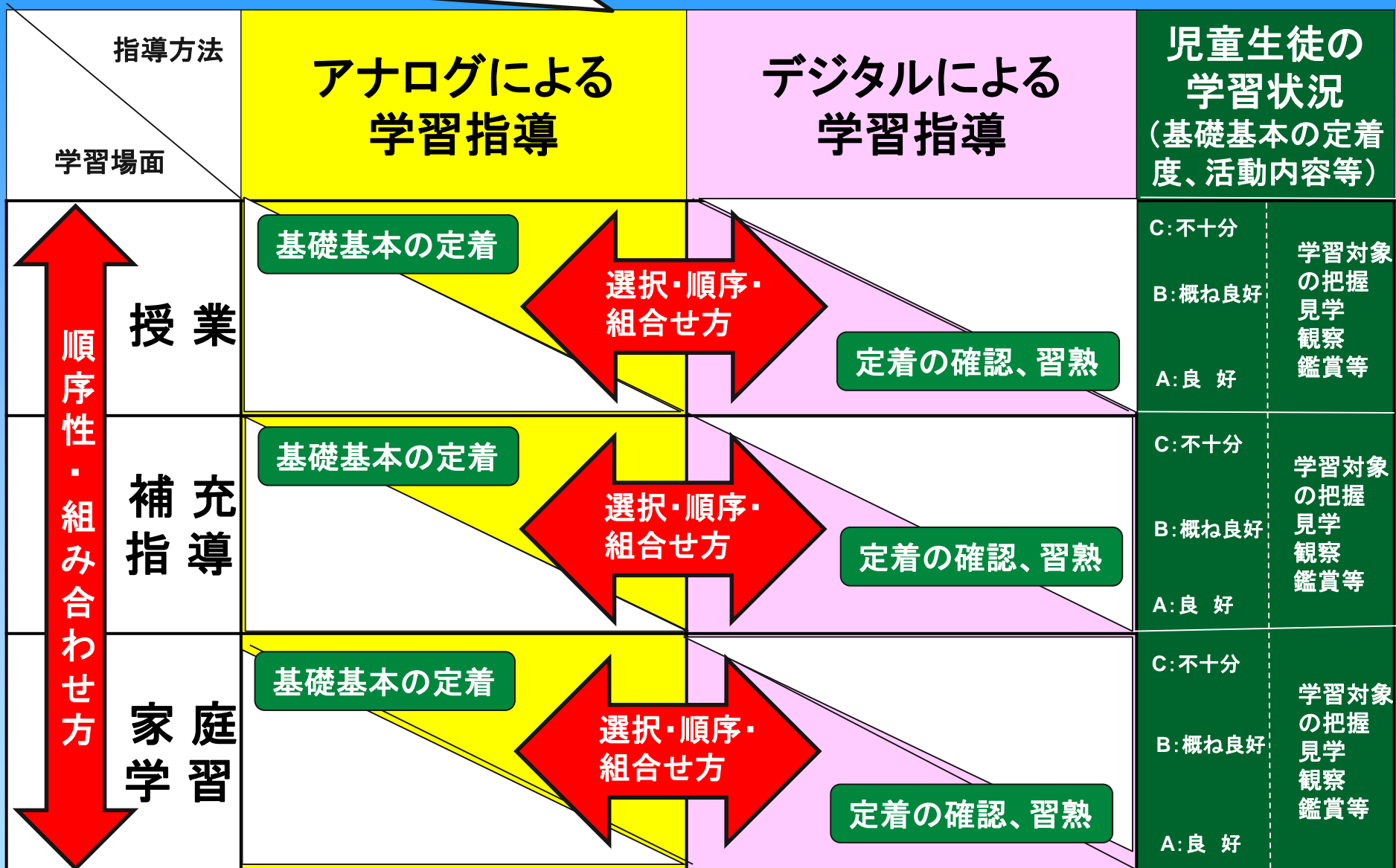


発達段階に応じたアナログとデジタルの配分(目安)

アナログとデジタルのバランス(目安)	【低学年】 1年生 2年生	【中学年】 3年生 4年生	【高学年】 5年生 6年生
デジタル学習指導	2	4 6	8
アナログ学習指導	8	6 4	2
タブレット端末の活用程度 ・ 家庭への持ち帰り	学校で慣れ 親しみ・使う 家庭への持ち帰り不可		学校・家庭で 使いこなす 家庭への持ち帰り可

学習場面におけるアナログとデジタルの使い分け方

教師は、子どもの学習状況からアナログとデジタルによる学習指導の使い分け方を判断する



タブレット端末を活用した基本的な授業モデル

授業：学習場面に応じたICT活用事例（文科省資料）

A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子どもたちの興味・関心を高めることが可能となる。

A1：教員による教材の提示

A2：教員と子ども全員によるまとめ

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

B1：個に応じる学習

B2：調査活動

B3：表現・制作

B4：家庭学習

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

C1：発表や話し合い

C2：協働での意見整理

C3：協働制作

C4：学校の壁を越えた学習

①デジタルドリルを活用する際は、その内容や使用場面を十分検討する（授業の一部、自宅等での学習等）

②子供たちの学習状況を把握し、個別の学習支援につなげるとともに、子供が自ら学習の改善につなげられるようにする

課題解決型学習過程におけるタブレット活用の授業モデル

学習過程

つかむ

見通す

調べる・考える

深める

まとめる

振り返る

学習形態・場面

A 一斉学習

B 個別学習

C 協働学習

(B 個別学習)

A 一斉学習

授業づくりでの活用のポイント

A1: 教員による
教材の提示



appleTV等を
活用して大型モニ
ターで提示

B1: 個に応じる学習



B2: 調査活動

B3: 表現・制作

ノート、付箋等をロイロノートで提出

C1: 発表や話し合い

C2: 協働での意見整理



C3: 協働制作

タブレットを使って考えを相互説明

C4: 学校の壁を
越えた学習

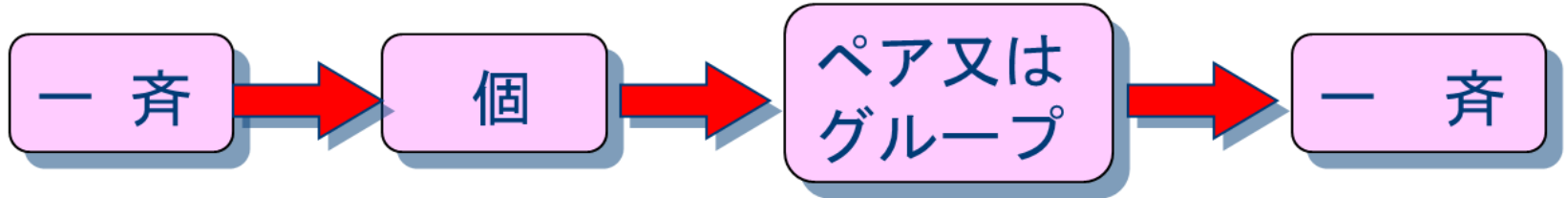


B4: 家庭学習

全体で説明、デジタルドリルで確認

授業における学習過程と学習形態との関係

【学習形態の基本的な展開】



A 一斉学習

B 個別学習

C 協働学習

A 一斉学習

【学習過程】

つかむ・見通す

調べる・考える

深める

まとめる・振り返る

主体的・対話的で深い学び

指導案のどの部分にタブレット端末の活用を書き加えたらよいか？

第〇学年 〇〇科学習指導案 ※16ポイントMS 明朝体

〇組 男子〇名、女子〇名、計〇〇名
指導者 〇 〇 〇 〇

1 単元(題材)
2 本時(〇/〇)

(1) 目標
① 関心・意欲・態度など情意面から
② 思考・判断・表現、知識・理解・技能面から

(2) 本時の展開に当たって
* この項には、本時の中での特に主張したい教師の働きかけについて述べる。
子どもが～できるようにするために、(教師は)～このような手立てをする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ 【評価規準】 〇印 ※印
つかむ	1 学習課題に出会う。 目標の明確化		〇 (子どもが) 学習課題に興味・関心をもって取り組めるようにするために、(教師は) 挿絵による問題場面を提示するようにする。 〇 (子どもが) 学習課題を明確につかめるようにするために、(教師は) ～手立てを行うようにする。
	2 学習課題をつかむ。 ☆ 学習問題(めあて)は罫線で囲む。		
見通す	3 解決の見通しをもつ。		〇 すべての子どもが解決の見通しをもてるようにするために、(教師は) ～を例示するようにする。
考える・調べる	4 自分なりの方法で調べる。 山場の工夫		D (子どもが) 自分なりの解決方法で取り組めるようにするために、(教師は) 自分のノートをタブレットカメラで撮影して提出箱に送信するように助言する。 ※(子どもが)～している。(ノート記述、行動観察) ※評価規準
深める	5 考え方を出し合う、全体で解き方などについて説明し合う。		〇 ※(子どもが)～している。(観察、挙手、ノート等) ※評価規準
振り返る・まとめる	6 本時の学習をまとめる。 確かな見届け ☆ まとめは二重罫線で囲む。		
生かす	7 教科の特性や内容によって、適用問題に取り組む。		D 本時の学習内容が定着しているかを確認するためにデジタルドリルを活用して把握するようにする。

4 評価 ※上記目標①②に対応して「～できたか。」の文末表現にする。
①

指導過程

学習場面

導入

展開

終末

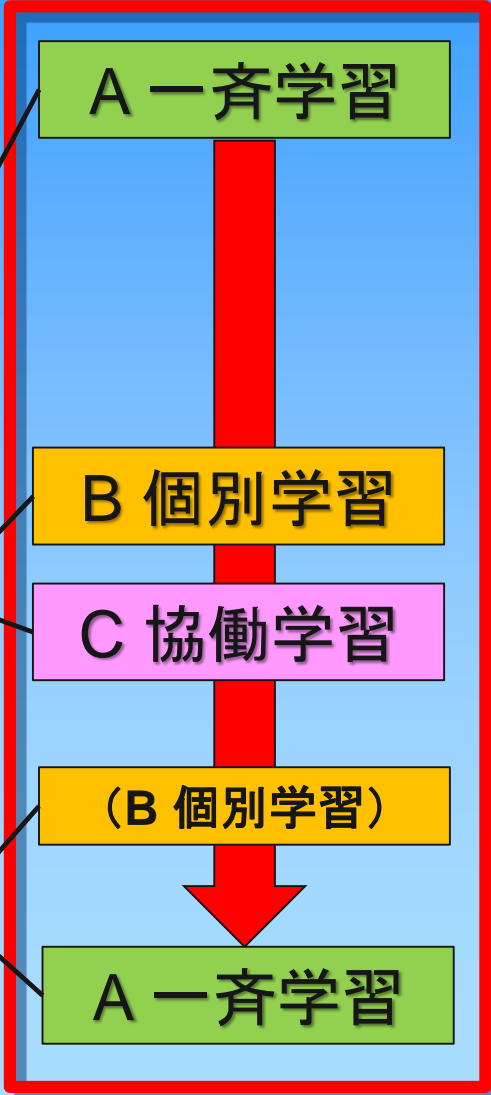
A 一斉学習

B 個別学習

C 協働学習

(B 個別学習)

A 一斉学習



学級間格差の解消に向けて教員のタブレット端末の活用をどのような手順で進め広げていくか？

【結論】

- ◆ 授業モデル、実践事例が身近にあること
- ◆ 簡単な操作から複雑な操作へ
- ◆ 短い操作から長い操作へ
- ◆ 手順①→②→③という流れで授業の導入・展開・終末と関連付けながら実技を伴う職員研修等を進めていく。
- ◆ 実践をサポートする指導教員がいる

→教育実習生、初任者、現職教員の指導で検証

学級間格差の解消に向けて教員のタブレット端末の活用をどのような手順で進め広げていくか？

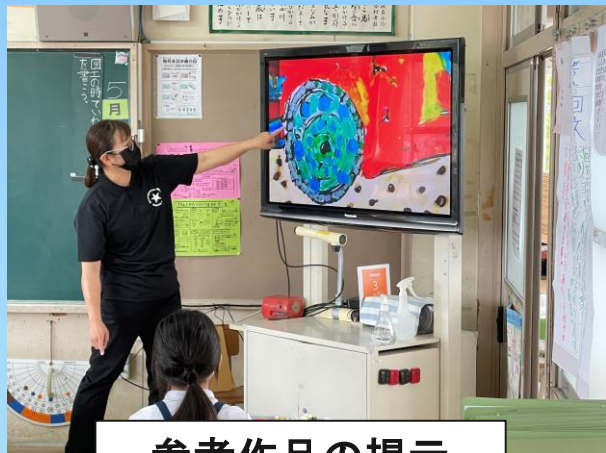
【タブレット端末操作をマスターするための指導手順】

【手順①】→導入部分

教師用タブレット端末のみを使用して大型モニター(または児童用タブレット)に映し出す資料提示

◆絵画や書写の参考作品やアンケート結果の提示などの具体的活用の例示、授業の導入部分で活用できることの理解

※初めてタブレット端末を扱う先生方には、まず教師から児童生徒への一方向の提示①ができるように働きかけていけば良い。



参考作品の提示



動画による筆さばきの提示



アンケート結果の提示

学級間格差の解消に向けて教員のタブレット端末の活用をどのような手順で進め広げていくか？

【手順②】→終末部分

児童生徒が取り組むデジタルドリルなどの活用

◆教師はデジタルドリルの問題内容を確認して児童生徒に指示を出すだけ(補充指導でも活用できる)

◆授業の終末部分で学習したことが定着しているか確認として活用
※教師は授業内容とドリル内容を確認して指示を出すだけで、教師用タブレット端末で結果を集約する。採点の手間が省けること、その分で個別指導ができるメリットを実感できるようにする。



適用指導でのデジタルドリルの活用

学級間格差の解消に向けて教員のタブレット端末の活用をどのような手順で進め広げていくか？

【手順③】→展開部分

授業の展開部分での双方向型での活用(ロイロノートを活用して)

◆教師から児童生徒へ

◆児童生徒間

◆児童生徒から教師へ のデータのやりとりを行う。

※これが最も複雑な操作スキルが必要だが、慣れるとそうでもないことを実感できるようにする。



グループ内での協働的な学び



全体での協働的な学び

【教育実習】6年1組で教育実習生の算数科授業がありました

2023年05月26日



5月26日(金)2校時に6年1組で教育実習生による算数科の研究授業ありました。本校の卒業生で将来教師を目指している大学生です。今週月曜日から3週間の期間、教育実習を行います。様々な教科を参観しながら授業づくりについて勉強しています。教育実習の先生ですが、指導案や板書計画を作り、**タブレット端末を活用して資料提示やデジタルドリルを活用して授業を行っていました。**

【教育実習】5年3組で教育実習生の評価授業 が行われました

2023年06月16日



6月16日(金)1校時に5年3組で教育実習生による学級活動の評価授業が行われました。子どもたちはバランスの取れた食事について調べて日常の食生活に活かす学習をしました。調べたことをお互いにグループや全体で発表し合って深めていきました。教育実習生ですがタブレット端末を活用した資料提示や調べる活動で、ロイロノート(シンキングツール)を活用して授業を進めていました。

【初任研】2年2組で初任研の算数科研究授業 がありました

2023年06月29日



6月28日(水)3校時に2年2組で算数科の研究授業がありました。初任研の一環で行われた研究授業でしたが、タブレット端末(ロイロノート)を活用したとても素晴らしい授業でした。子どもたちが日常的にタブレット端末を活用しており、**ロイロノート(シンキングツール)**を大変スムーズに活用できていました。多くの先生方もタブレット端末を有効に活用した授業を参観に来ていました。

【初任研】4年1組で初任研算数少人数指導の研究授業がありました

2022年06月28日



6月30日(金)3校時に4年2組で算数科の研究授業がありました。初任研の一環で行われた研究授業でしたが、**タブレット端末(ロイロノート)**を活用したとても素晴らしい授業でした。子どもたちが日常的にタブレット端末を活用しており、ロイロノートを大変スムーズに活用できていました。多くの先生方もタブレット端末を有効に活用した授業を参観に来ていました。**終末時のデジタルドリルの活用**

2023年度

【授業編】社会科

反転学習

(家庭学習課題と授業)

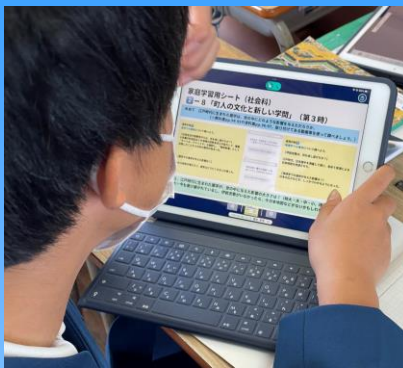
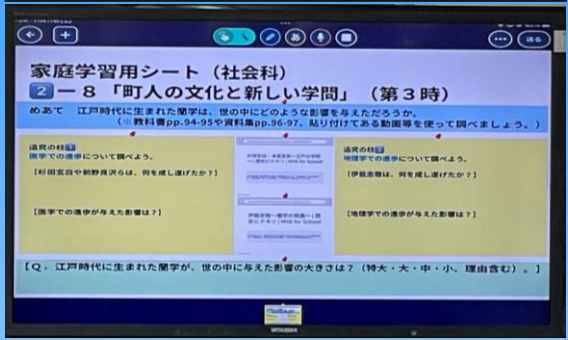
実践事例まとめ

社会科で家庭学習と授業を繋ぐ反転学習による実践を行いました

2023年11月11日



家庭学習ワークシート



C1: 発表や話し合い



全体でのまとめ、デジタル版評価カードで振り返り



11月11日(土)2校時に6年1組で社会科の事前研究授業がありました。県総合教育センターとの研究協力員として社会科における反転学習を具現化するための試みです。本校の6年生においてタブレット端末(ロイロノート等)を活用した社会科授業として、家庭学習との関連を図りながら、子どもたちが課題を追求していく際の教師の働きかけや留意点について検証していきます。

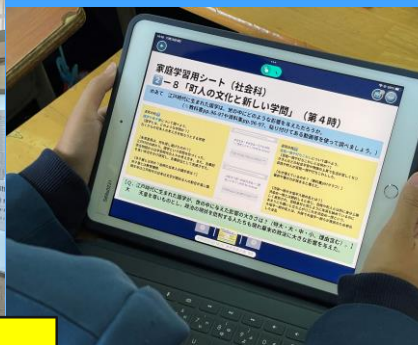
社会科で家庭学習と授業を繋ぐ反転学習による実践を行いました

2023年11月13日

A1: 教員による教材の提示

B1: 個に応じる学習

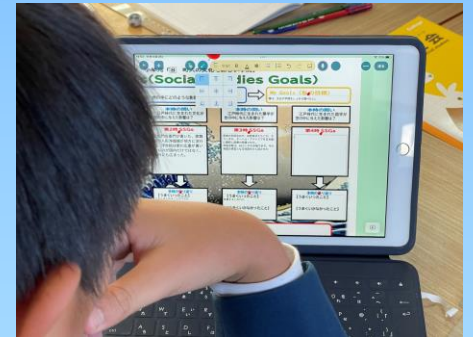
C2: 協働での意見整理



家庭学習ワークシート

C1: 発表や話し合い

全体でのまとめ、デジタル版評価カードで振り返り



11月13日(月)5校時に6年1組で社会科の研究授業がありました。県総合教育センターとの研究協力員として社会科における反転学習、自己調整学習を具現化するための試みです。本校の6年生においてタブレット端末(ロイロノート等)を活用した社会科授業として、家庭学習との関連を図りながら、子どもたちが課題を追求していく際の教師の働きかけや留意点について検証していきます。

社会科で家庭学習と授業を繋ぐ反転学習による実践を行いました

2023年11月13日

11/13 (月) P96 S 97

②-8 町人の文化と新しい学問④

めあて
江戸時代に生じた国学は、世の中にどのような影響を与えたのだろうか。

柱Ⅰ 国学の発展について

寺子屋とは？
町人や百姓の子供たちも、読み書き、そろばんなどを学べる場所。
なぜ広まったのか？
・蘭学・国学、町人文化への興味・関心が高まったから。
・江戸時代の識字率は約60~70%、世界でも高水準。

徳川家が将軍として世の中を治めていた時代も、天皇は
・天皇への個人、幕府や藩の政治への疑問

国学
日本独自の考え方を知らうと称する学問。
新しい時代を求めよう！
動きへ！

まとめ
日本独自の考え方を学ぶ学問(国学)が広がったことで幕府や藩の政治に疑問を抱く人たちが現れ、新しい政治を目指して改革を起そうとする動機になった。

柱Ⅱ 百姓一揆・打ちこわしについて

百姓一揆とは？
・百姓が年貢の軽減を求めた反乱。
打ちこわしとは？
・都市の貧しい人たちが米の買い占めに反対して起こした運動。
なぜ、増加したのか？
・ききんなどによって、食料不足におちいり、年貢を納められないほどに生活が苦しくなれ、差別されてきた人々も、一揆を起こしていた。

江戸時代の寺子屋 (想像図)
徳川家将軍一覧 (初代~第15代)
本居宣長と「古事記伝」
江戸時代の打ちこわし (想像図)
百姓一揆と打ちこわしの件数

上野陽也 大山知里



2023年度

【授業編】総合的な学習

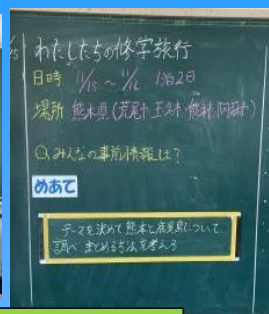
単元内自由進度学習

**(タブレット端末を活用した調べ学習
及びプレゼンテーション等)**

(修学旅行の事前学習)

実践事例まとめ

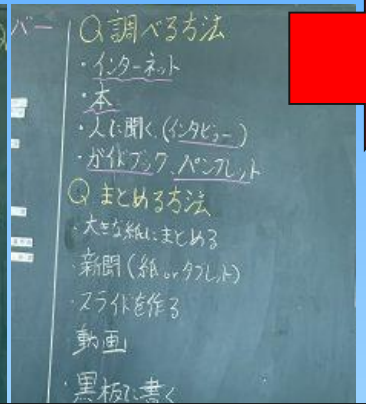
総合的な学習「私たちの修学旅行」でテーマ、調べる方法、まとめる方法等を話し合いました 2023年10月25日



A1: 教員による教材の提示



・テーマ
・メンバー
・調べる方法
・まとめる方法
をグループで話し合っ
て決める。決まったら付箋
に記入して教師用タブレッ
ト端末に返信する。



C1: 発表や話し合い

C2: 協働での意見整理



テーマ、調べる方法、まとめる方法

10/25学習計画を立てる

テーマごとにグループをつくり、調べる方法とまとめる方法を話し合う。

10月25日(水)4校時に6年2組で総合的な学習の研究授業がありました。総合的な学習における単元内自由進度学習を具現化するための試みです。本校の6年生においてタブレット端末(ロイロノート等)を活用した総合的な学習の授業として、子どもたちが課題を追求していく際の教師の働きかけや留意点について検証していきます。

総合的な学習「私たちの修学旅行」で調べ学習を行いました

10/26調べ学習(全4時間)

2023年11月01日



B1: 個に応じる学習



C1: 発表や話し合い



C2: 協働での意見整理



学習計画(テーマ、調べる方法、まとめる方法)に基づいて自分なりの方法で調べ学習を行い、調べて分かったことを手書きでワークシートに記録する。

11月1日(水)2校時に6年2組で総合的な学習の研究授業がありました。本校の6年生においてタブレット端末を活用した総合的な学習の授業として、子どもたちが自分が明らかにしたいテーマを、調べる方法、まとめる方法を自己選択や自己決定して追求していく場面

総合的な学習「私たちの修学旅行」の事前発表リハーサルを行いました

2023年11月11日

C1: 事前発表と撮影



本番と同じように発表してその様子をタブレット端末カメラで撮影する。

C2: 協働での意見整理



撮影した動画を振り返りながら改善点はどこかをグループで話し合う。

11月11日(土)1校時に6年2組で総合的な学習の研究授業がありました。単元内自由進度学習を具現化するための試みです。本校の6年生においてタブレット端末を活用した総合的な学習の授業として、子どもたちがまとめたことをよりよく発表するための事前リハーサルを行いました。

2023年度の実践

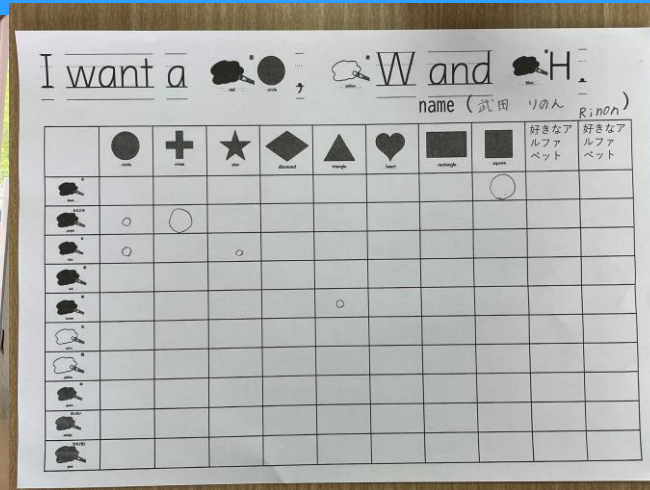
【授業編】①

タブレット端末に内蔵された
アプリケーションソフトの活用

6月1日(木)5年外国語科

5年2組で図形アプリを活用して英語学習に取り組んでいます

2023年06月1日



子どもたちは色や形の英単語を学んで、その単語を使いながら英文「I want a A and B～」の文型に親しむために「red circle」とかの色と形を使っていく。タブレット端末に内蔵されたアプリを活用して様々な図形を描きながら、必要な色と形を使う場面を作っていました。色と形の英単語を使う必要性のある場面を教師がタブレット端末を活用して作り出していました。仮想場面をつくる際にもタブレット端末は活用できるのだと思いました。

2023年度の実践

【授業編】②

ヘッドセットによる個別学習及び
ネットシェイカーによる学習者用
デジタル教科書コンテンツの活用

6月12日(月)6年外国語科

学習者用デジタル教科書を活用して快適に英語学習に取り組んでいます

2023年06月12日



6月12日(月)3校時にイングリッシュルームを覗くと6年生の子どもたちがヘッドセットを付けて学習者用デジタル教科書のコンテンツを活用して静かに個別学習に取り組んでいました。先日『ネットシェイカー』(通信速度を速くする機器)が設置されたことでたいへんスムーズに活用できています。そのおかげで通信が滞ることなく快適に学習できています。

2023年度の実践

【授業編】③

ヘッドセットによる個別学習及び
学習者用デジタル教科書の活用

6月28日(金)6年外国語科

事例11 小6 外国語科 「Let's go to Italy」

(New Horizon Elementary Unit3)

【指導案】デジタル教科書、ロイロノート、 カメラアプリ、ヘッドセット等

第6学年 外国語科学習指導案

6年2組 計35名
指導者 JTE
AEA

- 1 単元名 Let's go to Italy. (New Horizon Elementary6 Unit3)
- 2 本時 (4/8)

- (1) 目標
自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、おすすめの国とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをよりよく伝え合うことができる。
- (2) 本時の展開に当たって
導入では、学習計画を基に、総合的な学習の時間「わたしたちの行ってみたい国」の学習で得た知識を活用することを確認し、知的好奇心を刺激したい。展開では、一人一台端末を活用させたり、学習形態を工夫して既習表現をコミュニケーションに取り入れさせたりするなど、個別最適かつ協働的な学びを充実させたい。終末では、自己の成長や課題に気付かせ、学びの自覚化を図りたい。あわせて、単元を通して、間違えながらも言語活動を通して言語材料を繰り返し使い、自己調整しながら身に付けさせていく「うるし盛り指導」を行いたい。

過程	主な学習活動	時間 (分)	教師の具体的な働きかけ ①甲
出発・見送り	1 挨拶	5	【評価標準】※甲 B印、タブレット活用 ○ 学習の雰囲気高めるために、既習表現を使い、口付、天気などについてやり取りをする。 ○ 子供が目的や場面、状況を意識し、見通しを持って学習に取り組むことができるようするために、学習計画を確認させる。
	2 Sounds and Letters (Ye, We) めあて		
	3 おすすめの国でできることや感想を伝え合う。		
	4 チャレンジ おすすめの話やその理由を表す表現を練習する。	15	D 自信を持ってコミュニケーション活動に取り組むことができるようにするために、チャレンジを通して単語や使用表現に慣れ親しませる。その際、デジタル教科書を活用し、自分のペースで単語の発音練習をさせ、次の言語活動につなげるようにする。 D おすすめの国のよさがより伝わるようにするために、「Picture Dictionary」を活用して、感想を付け加え、練習させるようにする。 D より良い発表につなげるために、一人一台端末を活用して互いの発表の様子を撮影し合い、動画を見せたり、客観的に自分の発表を見たりさせる。そして、また、学びの共有化を図るために、自己の課題を捉え、ロイロノートで可視化するようにする。
【単語】 国、食べ物、味 【表現】 It is a nice country. You can ~. It's ~			
慣れる・挑戦する・止げる	5 シンキングタイム (1) おすすめの国でできることや感想などを、セリフを配る。	X	※ 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたい国とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを話している。 【語（話・発）】(観察) ※ 「同上」話そうとしている。【土（語・発）】
	(2) 発表のポイントを共有する。		
	6 アドバイスタイム (1) ペアで練習し、動かし合う。 (2) 自分の課題に気付かせ、繰り返し上げる。		
振り返る	7 Let's Read and Write (1) 「わたしのセリフ」におすすめの国でできることの感想を書く。 (2) 絵で違いながら読む。	30	○ 互いの成長に気付かせたり、学びの自覚化を図ったりするために、感想を記入させたり、自己評価をさせたりする。 ○ 次時の学習につなげる。
	8 振り返り ・学習到達目標に照らして ・自由記述で		
	9 挨拶		

- 4 評価
自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、おすすめの国とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどをよりよく伝え合うことができたか。

【タブレット端末の活用場面】



【つかむ場面】

【調べる・考える場面】



【深める場面】

【振り返る場面】

【板書】



学習者用デジタル教科書を使ってヘッドセットを着用して自己の課題に応じた発話練習をさせることができた。また、自分の英会話表現の様子を動画撮影したことで、自己の発表を客観的に振り返りながら、課題に気付かせることもできた。

2023年度実践

インフルエンザ感染対応

学級閉鎖に伴うオンライン授業

Microsoft teams及び

ロイロノートの活用

◆9/26 6年理科授業

◆ // 算数科授業

【インフルエンザによる学級閉鎖に伴うオンライン授業】 6年3組(理科授業) 2023年09月26日



理科専科がオンラインで授業を進める

担任とICT担当が接続、設定、質問等に答えて授業をサポートする

◆テレビ会議システム(teams)とロイロノートを組み合わせた方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。
※大型モニターに課題を映し出して解説しながら進めることができるようにする。

【インフルエンザによる学級閉鎖に伴うオンライン授業】 6年3組(算数科授業) 2023年09月26日

問題を解き終わったら板書の映像に切り替えて解説

大型モニターには教師用デジタル教科書の問題を提示

黒板前にタブレットスタンドを立てて板書の文字が見えやすくする。マイクは常時ONにして教師の指示が子どもに聞こえやすくする。

◆テレビ会議システム(teams)とロイロノートを組み合わせた方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。
※大型モニターに課題を映し出して解説しながら進めることができるようにする。

【ハイブリッド型オンライン配信(2か所同時配信)】 4, 5, 6年生「かごんま弁講座」 2023年09月27日



4年生は体育館で鑑賞



5, 6年生の教室(5クラス)へライブ配信



2台のタブレット端末カメラで、5, 6年教室と学級閉鎖中の子どもたちへ配信する。



学級閉鎖中の子どもたちの家庭へ配信

インフルエンザにより学級閉鎖で自宅待機中の子どもたちの家庭へ配信

◆テレビ会議システム(teams)を使って講座を撮影して配信
撮影用タブレット端末2台を使って2つの場所へライブ配信する。

2023年度実践

インフルエンザ感染対応

学級閉鎖に伴うオンライン授業

Microsoft teams及び

ロイロノートの活用

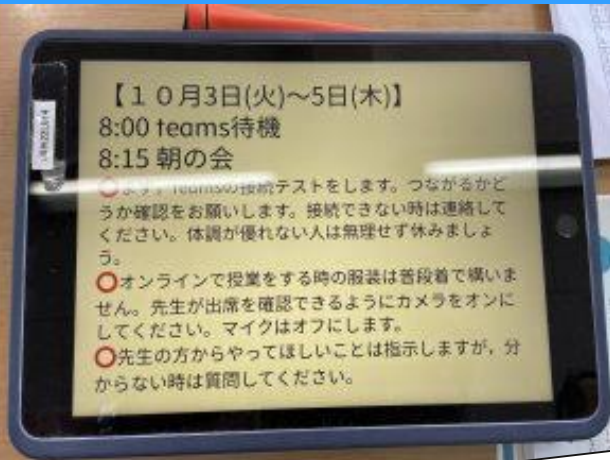
◆10/3 5年国語科授業

◆ // 音楽科授業

◆ // 理科授業

◆ // 5, 6年合同体育授業

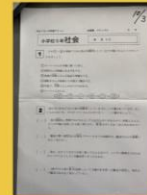
【インフルエンザによる学級閉鎖に伴うオンライン授業の事前準備】 5年2組 2023年10月02日



10/3(火)の分 宿題プリントの解答

必ず丸つけをします。
Bランク以上の訂正もしましょう。

※3日間の宿題は、全て金曜に集めます。なくさないようにファイルに入れておきましょう！



10月5日(木) オンライン授業

- 1時間目 8:45～ 国語 秋の夕暮れ
 - 2時間目 9:40～ 社会 これからの食料生産とわたしたち
 - 3時間目 10:40～ 算数 分数のたし算とひき算(下の教科書)
 - 5時間目 14:10～ 理科 台風と天気の変化
- 帰りの会(明日の連絡)

【学校と家庭を繋ぐオンライン授業を行うに当たって事前(前日)に準備しておくべきこと】

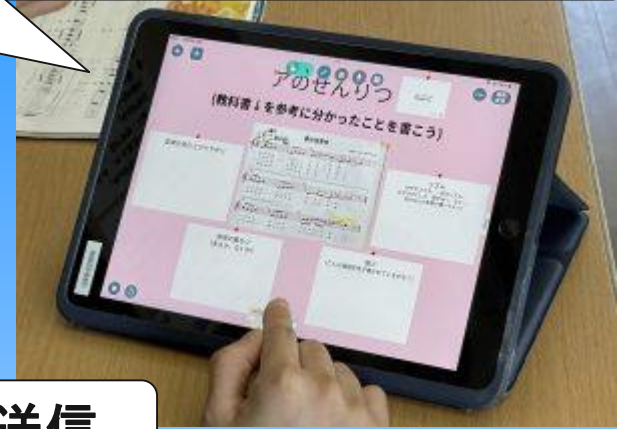
※出席者にはタブレット端末を持ち帰らせる。欠席者は保護者に取りに来てもらう。

- ① Microsoft teamsの接続・設定作業の確認(確実に繋がるか?)
- ② Microsoft teamsの操作方法、使い方指導(マイク、カメラのオンオフ操作、トラブルの発生時のメール送受信)
- ③ 学級閉鎖3日間の主なスケジュールと日程(詳細は当日でも可、何時までに会議に入るのか?)
- ④ 全般的な使い方のルール等(詳細は当日でも可)

学級閉鎖期間にどのような計画でオンライン授業を進めていくかを子どもたちや保護者に事前にロイロノートで知らせておく。

【インフルエンザによる学級閉鎖に伴うオンライン授業】 5年2組(音楽科授業) 2023年10月03日

ワークシートを書き終えたら先生に提出する。



ロイロノートで子どもたちへ楽譜、音源、ワークシートを送信



黒板前にタブレットスタンドを立てて板書の文字が見えやすくする。
マイクは常時ONにして教師の指示が子どもに聞こえやすくする。

◆テレビ会議システム(teams)とロイロノートを組み合わせた方法
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。
※大型モニターに課題を映し出して解説しながら進めることができるようにする。

【ハイブリッド型オンラインライブ配信】

5, 6年生合同「棒踊り練習」

2023年10月03日



5,6年生対面での合同練習



学級閉鎖中の子どもたちの家庭へ担任が合同練習の様子を撮影しながら動きの解説をしてライブ配信する。

◆テレビ会議システム(teams)を使って練習を撮影して配信
撮影用タブレット端末カメラを使って家庭へライブ配信する。

2023年度実践

インフルエンザ感染対応

学級閉鎖に伴うオンライン授業

Microsoft teamsのみ活用

◆10/4 5年国語科授業

◆ // 算数科授業

【学級閉鎖に伴うオンライン授業(2日目)】

5年2組(国語科授業)

2023年10月04日



黒板前にタブレットスタンドを立てて板書の文字が見えやすくする。マイクは常時ONにして教師の指示が子どもに聞こえやすくする。



撮影された映像を大型モニターに映し出して確認しながら進める。

めあてを提示して子どもたちに発表させながら通常授業の進め方とほぼ変わらない。

◆テレビ会議システム(teams)のみを活用したオンライン配信
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。
※大型モニターに課題を映し出して、課題を書き終わった子どもたちに発表するように促す。

【学級閉鎖に伴うオンライン授業(2日目)】

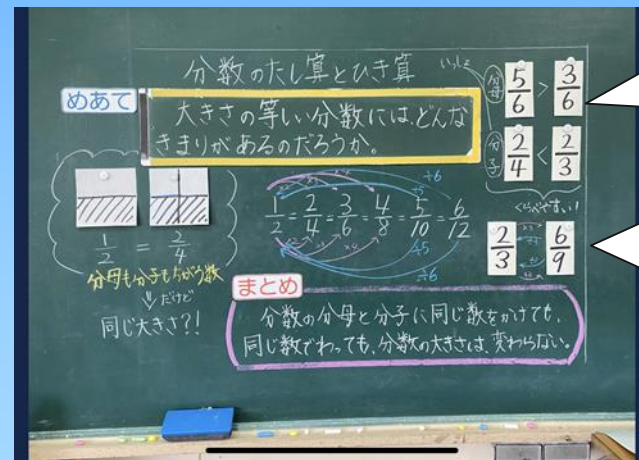
5年2組(算数科授業)

2023年10月04日



黒板前にタブレットスタンドを立てて板書の文字が見えやすくする。マイクは常時ONにして教師の指示が子どもに聞こえやすくする。

撮影された映像を大型モニターに映し出して確認しながら進める。



めあてを提示して子どもたちに発表させながら通常授業の進め方とほぼ変わらない。

◆テレビ会議システム(teams)のみを活用したオンライン配信
教師用タブレット端末と児童用タブレットとをteamsでつなぐ。
※大型モニターに課題を映し出して、課題を書き終わった子どもたちに発表するように促す。

【学級閉鎖に伴うオンライン授業(2日目)】

5年2組(板書時の配慮事項)

2023年10月05日



めあて 分数のたし算とひき算
大きさの等しい分数には、どんな
きまりがあるのだろうか。

$\frac{1}{2} = \frac{2}{4}$
分母も分子も4がうけ
↓だけ
同じ大きさ?

まとめ
分数の分母と分子に同じ数をかけても、
同じ数でわっても、分数の大きさは、変わらない。

$\frac{5}{6} > \frac{3}{6}$
 $\frac{2}{4} < \frac{2}{3}$
 $\frac{2}{3} < \frac{6}{9}$

$\frac{1}{2} = \frac{2}{4} = \frac{3}{6} = \frac{4}{8} = \frac{5}{10} = \frac{6}{12}$

めあて 秋の夕暮れ
秋について書かれた文章や言
葉から、「秋」のイメージを深めよう。

七月 月 ↓ 満月
十六夜 ↓ 満月の翌晩
暮秋 ↓ 秋の終わりのころ

みんなにとり秋
ローノートに提出!

保状条

弓張月

めあて 特別な読み方をする言葉
どんな使い方があろうだろうか。

七夕 今日時計
七? 上手 年々
二人 ↓ ふたり 時々
清水 ↓ しずみず 迷子 ↓ まいご
川原 ↓ かわら 眼鏡 ↓ めがね
昨日 ↓ きのう 一日 ↓ いっぴち
八百屋 ↓ やちや 博士 ↓ だかせ
果物 ↓ くだもの

めあて 食料を安定して確保し続ける
には、どんなことが大切なのだろうか。

食料自給率を上げる!!

地産地消
→ 自分の地域でとれたものを
自分で食べる(消費する)

これらの食料生産がめざすこと
→ 安心して買える、安全な食料生産を
行うこと。

めあて 分数の大きさを変えずに、分母と
分子を簡単に表すにはどうしたらよ
いのだろうか。

$\frac{12}{18} = \frac{2}{3}$
 $\frac{12}{18} = \frac{6}{9} = \frac{2}{3}$

最大公約数

約分 $\frac{12}{18} = \frac{2}{3}$ 約分

① $\frac{8}{10} = \frac{4}{5}$ ② $\frac{18}{27} = \frac{2}{3}$ ③ $\frac{16}{40} = \frac{2}{5}$ ④ $\frac{26}{78} = \frac{1}{3}$

◆テレビ会議システム(teams)のみを活用したオンライン配信
黒板の前にタブレットスタンドを立ててカメラが写る範囲内に板書をする。書いた文字が子どもたちに見えやすくなるように配慮する。